

第5回TUPRePクロストーク

感染症発生時における 老病死へのケア

2024年 5月23日 (木)

18:00 – 19:30 (議論が続けば延長)

開催形式：対面とオンライン(Zoom) のハイブリッド

対面会場：東北大学医学部6号館 1階 講堂

星陵キャンパスMAP08 (<http://bit.ly/40GFWp7>)

- 対象：東北大学の教員・学生 / 東北大学外の研究者・学生
パンデミックに関する学際研究に関心のある方 (若手研究者歓迎)
できれば対面会場で討論に参加していただくことを推奨します
- 交流会：対面会場では終了後に簡単な交流会を実施
- 使用言語：日本語
- 登録締切：2024年5月22日(水) 15:00

参加登録

<https://forms.gle/DwnqA6PhFj2ycqVn7>



話題提供

イントロダクション

「日本における宗教の公共性と臨床宗教師」

東北大学 文学研究科
教授 木村敏明



概要

COVID-19の発生により、日常生活だけでなく、宗教活動も制限を受けることとなった。仏教寺院では、葬送儀礼など死者への弔いが簡素化された。医療・福祉分野で活動する臨床宗教師も、エッセンシャル・ワーカーと認められず、活動自粛を余儀なくされた。本セッションでは、パンデミック下における宗教者の活動を踏まえ、感染症発生時における老病死へのケアのあり方について考えたい。



話題提供

「COVID-19パンデミックと向き合う宗教者
：仏教寺院と臨床宗教師の取り組み」

東北大学 文学研究科
特任助教 井川裕寛